



Go Playing Fellowship
of Rotarians

ロータリー囲碁同好会

NEWS LETTER

NO ,33

2019・1・15

newHP <http://www.gopfr.org>

<第 17 回ロータリー全国囲碁大会>

最年少の大塚五段（大垣） 2 階級を制覇

中級 村田四段（銀座新） 初級 田ヶ原二段（伊勢度会）



前列中央の新藤信之 GPFR 日本支部長（橙襟）塚本利光審判長（赤襟）カップを手にする 3 クラスの優勝者を囲んで （2018 年 10 月 6 日 日本棋院）

初参加の北村六段スイス方式に無念

第17回全国大会が2018年10月6日午前10時から、東京・市ヶ谷の日本棋院本院の1階対局室で開催され、全国から囲碁を愛するロータリアン、総勢57名が参加、囲碁三昧の一日を楽しみました。なお、主催はロータリー囲碁同好会日本支部、共催は第2580地区、第2750地区。ホストクラブは東京ロータリークラブです。

クラブ対抗戦に11RC

国際ロータリーで日本発進の唯一公認されている同好会がロータリー囲碁同好会(GPFR)で、韓国、台湾、アメリカ、そして日本の4カ国に支部を持ち、毎年一回、世界大会が開催されています。その源流となるのが日本支部で、その日本支部主催の第17回となる今大会への参加者は、北は盛岡から南は福岡から。年齢は51歳から91歳まで。そして女性棋士2名、となりました。囲碁好きなロータリアンが一堂に会す、魅力ある大会となりました。

「開会式次第とクラス分け」

定刻10時の開会式は、日本支部の支部長でもある進藤信之（東京立川こぶしRC）大会実行委員長による点鐘で始まり、続いて国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」を歌いました。そして、進藤委員長の開会宣言に続き、塚本利光（東京京浜RC）審判長のルール説明となりました。

さて、クラス分けとその人数は以下の通りとなりました。

【上級クラス】

5段以上（実際は5段と6段）で23人。

【中級クラス】

3段と4段で18人。

【初級クラス】

4級から2段までで16人。

以上の個人戦の他にクラブ対抗戦があります。これは1クラブからの参加者が2名以上のクラブが自動的にエントリーされます。1クラブからの参加人数は何人でも構いませんが、その内の勝ち星の多い2名の勝ち星合計数で競います。2名のクラスは問いません。今回のクラブ対抗戦にエントリーされたクラブを人数の多い順に紹介します。

【クラブ対抗戦エントリークラブ】

5名 東京世田谷南RC

4名 東京RC、東京銀座新RC

3名 豊橋ゴールデン RC、東京銀座 RC、仙台 RC、広島中央 RC 3

2名 東京八王子 RC、東京立川こぶし RC、東海 RC、東京中央 RC

以上、11 クラブ、33 名がエントリーされました。

「大会ルールと対局方式」

段級位は、基本は自己申告です。ただし、各大会（国際大会を含む）の各クラスでの優勝者は、次の大会からは一級ないし一段自動昇段します。上級だけは、アマの基本的な上限が6段ですので、優勝しても基本的には7段にはなりません。

手合割は、同級、同段はにぎり黒が6目半のコミを出します。一級・一段差は先、二級・二段差は二子で、以下差が一つ増えるごとに一子ずつ増えていきます。そして、持碁は白勝ちです。

持ち時間は35分で、時間切れ負けとなります。ですが、対局時計の数が足りず初級クラスは時計なしでの対局となりました。

また、対局方式はスイス方式で、全員が4局打つこととなります。ただし、今回上級クラスが奇数になり、一人対局できない方が出ます。従来からこうした場合は大会役員が対局から外れることにしています。今回は塚本審判長が初戦の対局なし、となりました。また、同じクラブ同士での対局は避けることを原則としています。そして、個人戦は各クラスとも優勝から4位までが表彰されます。勝敗とポイント数が同じ場合は高齢者を上位とするのも昔からの伝統です。

「対局時間と昼休み」

対局は10時30分から始まりました。持ち時間が35分の切れ負けですから、最長でも一局70分となります。2局目は11時40分からで12時50分には昼食となります。

2局目を終え次第のお昼休み、昼食となりますが、お昼ご飯は恒例の浅草今半の2段重ねのすき焼き弁当。これが毎年好評で、疲れた体力を補い、午後の二局への気力を生み出す元気の元となります。2局目が終わった方から適宜お弁当を楽しみます。

午後の3局目は13時30分から、そして4局目が14時40分からとなります。今大会は対局時計が使えなかった初級クラスに熱戦が相継ぎ、70分越えの名勝負もありました。しかも第1局から第4局まで熱戦が多く、手合係が各クラスのすべての対局結果が出揃ってから次の対局を決めるため、初級クラスの手合が決まるのが最後になりました。次回からは初級にも手合時計が必要かもしれません。

対抗戦3位決定は4RCのジャンケン

本大会ではトラブルは一切なく、審判長の手を煩わす事なく全部の対局が終わりました。成績発表では、参加者が多かった上級クラスは4戦全勝が2名でしたが、優勝者をポイントで決定、中級クラスと初級クラスは4戦全勝が1名ずつと、3クラスの優勝者が決まりました。クラブ対抗戦も含め、結果は次ページの通りです。

《上級クラス》

優勝	大塚典和五段 (大垣 RC)	4 戦全勝
準優勝	北村広史六段 (宇都宮西 RC)	4 戦全勝 ※初出場
3 位	山田 清六段 (長門 RC)	3 勝 1 敗
4 位	木塚烈男五段 (東海 RC)	3 勝 1 敗

《中級クラス》

優勝	村田洋一四段 (銀座新 RC)	4 戦全勝
準優勝	永田博巳三段 (加古川平成 RC)	3 勝 1 敗
3 位	清水一信三段 (広島府中 RC)	3 勝 1 敗
4 位	杉原敏雄四段 (豊橋ゴールデン RC)	3 勝 1 敗

《初級クラス》

優勝	田ヶ原博史二段 (伊勢度会 RC)	4 戦全勝
準優勝	山口達夫 2 級 (東京立川こぶし RC)	3 勝 1 敗
3 位	岩本峯吉初段 (松伏 RC)	3 勝 1 敗
4 位	安本好勝 3 級 (川崎マリーン)	3 勝 1 敗

《クラブ対抗戦》

優勝	銀座新 RC	7 勝
準優勝	東海 RC	5 勝
3 位	豊橋ゴールデン RC	4 勝

※4 勝 4 クラブのジャンケンで勝利。3 位表彰は 1 クラブまで。

3 位	仙台 RC	4 勝
3 位	東京 RC	4 勝
3 位	東京世田谷南 RC	4 勝

表彰式は上級クラスから順に行われ、入賞者に新藤大会実行委員長からトロフィー（持ち回り）と盾が贈られ、記念撮影となります。なお、各クラスの優勝者は次回から段位がひとつ上がることとなります。

今大会で注目されたのが、初出場ながら上級クラスで4戦全勝という好成績を残された北村広史（宇都宮西 RC=写真右）六段でした。2局目では審判長も務める塚本利光（東京京浜）六段に勝利、「強豪の登場」と騒めきました。聞くところによると、大学の囲碁部のキャプテンを務めていたとのこと。国内大会出場のロータリアンの多くが世界大会にも参加されますが、世界大会では韓国・台湾勢に押されがち。頼もしい



最年少の新星登場で早くも期待大です。

5

さて、今大会の運営面では、いつもながらホストクラブとなる東京 RC さんを中心に常任理事さんが大活躍。見えないところでの準備があつてこそ、大会運営が滞りなく進んでいる、ということです。また、今大会では名札にメイクアップカードを使用しましたが、これば大成功。従来はオリジナル名札を作っていましたが、メイクアップカードなら、当日の出欠にも対応しやすく、今後も国内大会はこの方式が良さそうです。

開会式での新藤大会実行委員長の挨拶、「ロータリーの大会ですから、和やかに楽しい一日にしましょう」の言葉通り、トラブルもなく大会は終了。全員での懇親会は当初から予定になかったこともあり、各クラブや対局した方同士での個別懇親会がもたれたようです。

次回も多くの方にご参加いただき、より楽しい大会になることを祈念します

GPFR 日本支部副幹事 村田洋一(東京銀座新)

恐縮して初優勝で自戦記

中級クラス四段 村田洋一 (東京銀座新)



対局前に心したのは、落ち着いて納得のいく手を打つことと、打った手が最善手でなくとも後悔せずにすぐに気持ちを切り替えること、の二つでした。それが実行できたことで、中級の部の優勝カップを手にする事ができ、その上、こうして自戦記まで書かさせていただけること大変嬉しくもあり、また恐縮しています。

一局目は以前の対局で苦杯をなめている相手でした。今度こそ、とはやる気持ちを抑えるが大切、対戦に臨んでの戒めを守り、囲碁まで平常心で対局できました。

二局目は初手合いの方、中盤で相手模様がほぼ完成。打ち込むなら今、ボウシかカタツキか？ 迷った挙げ句に選んだのがボウシ。がちよっと無理気味の一手に。相手が緩んでくれて隅の石と繋がり、なんとか二連勝。

三局目、優勢とは思っていたものの、ええいと、さらに分断を試みたのが打ち過ぎ。でも後悔は無用。うまく気持ちを切り替えることができ、なんとかセキに持ち込めて三連勝。ここまで、どの局も出来過ぎでした。

四局目は二人に絞られた三連勝同士となり、事実上の決勝戦に。対局相手は以前に勝

たせてもらっている相手。これはいけるか、と心がザワザワ。しかし、ここでも大切なのは平常心、碁盤に集中するのみ、としっかり言い聞かせました。対局は接戦の終盤に相手の見落としがあり勝利。結果的には怒涛の、いや薄氷の四連勝（笑）。

囲碁大会での優勝は、三十年ほど前に東京都港区福社会館主催大会の中級クラスでの優勝に続く二度目。その時の優勝決定戦は相手の石を追いかけ回し続けてのすれすれでの勝利。対局中、一手ごとに心臓の鼓動が上がり続けた苦しさは今も覚えています（笑）。

ということで、今回の優勝は本当に嬉しい限りです。大会主催者側の末席に身を置かせていただき、大会では表彰式で優勝カップを並べたり、手渡しする係。それが壇上で優勝カップを授与される身となったのですから、忘れられない大会になりました。

これで次回からは五段となります。囲碁の手ほどきを受けた父と一応同じ段となりました。上級クラスへの仲間入りは嬉しい限りですが、一日も早く実力の伴う五段になれるように頑張りますので、皆様よろしくお願い致します。

目指せ、上級クラスでの初勝利!!

10月5日は第18回全国大会

GPFR 日本支部は2019年10月5日（土）午前10時から東京・市ヶ谷の日本棋院本



院1階の対局室で「第18回ロータリー全国囲碁大会」を開催します。3クラス制、1時間の早碁戦で、同クラブ上位2人の得点によるクラブ対抗戦も行います。登録受付は09:30、昼食挟みスイス方式による4局の予定。表彰式は16:00です。

3クラスとも上位4位まで入賞楯を用意。登録料7000円（昼食代等含む）。クラブ対

抗戦の順位はスイス方式によらずジャンケンで決めます。定員100人です。

全国大会の詳細及びお申し込みは4月6～7日の国際囲碁大会終了後に、改めてご案内いたします。今から今年のスケジュールに大会参加を書き込んでください。

ホームページを改定しました

gopfr.org を検索してください

初級者優勝の田ヶ原二段。下位の優勝経験者を次々と蹴散らしての4戦全勝は流石でした。



クラブ対抗は東京銀座新RC。過去最多の11RCの激戦を勝ち上がっての優勝。中心になって大会運営を支えて頂き、感謝に堪えません。



上級者優勝の大塚五段。親子二代の名人位を獲得。出場者最年少のチャンピオン。



クラブ対抗3位決定はジャンケンポン。左は最年長の出光昭介三段（東京RC）



女性の参加者はお二人でした

4月大邱で第20回国際大会

RI 公認の親睦団体であるロータリー囲碁同好会(GPFR)主催の「第20回RI 囲碁大会」が、2019年4月6日(土)、7日(日)の両日に韓国・大邱市でおこなわれます。日本、韓国、台湾、米国の囲碁好きのロータリアンが集まって、碁盤を通じて毎年春に国際交流を図る集いで、記念の第20回大会を迎えます。

大会は上級者(五段以上)、中級者(二段~四段)、初級者(初段まで)の3クラスに分かれ、上級者優勝者は1年間「ロータリー囲碁世界チャンピオン」の称号を許されます。コミ6目半、持ち時間30分の計時制。スイス方式の4回戦を予定しております。

参加ご希望の方は同封しました参加申込書にご記入のうえ、**FAX (03-3452-1652)**でお申し込みください。折り返し大会要領・地図・送金連絡等をご案内致します。

登録料は18000円。初心者、ご家族のご参加も歓迎。2月28日(木)締め切りです。

現地集合ですが、今回も2泊3日の格安団体旅行(成田、関空、福岡発)を企画しました。申込書の裏面に団体旅行のご案内を詳しく掲載しました。会員である金澤拓平六段(東京青山RC)が社長の日洋航空(株)に今回も手配をお願いしています。ぜひご参加を。個別の現地集合でのご参加もお申し出ください。

会費納入のお願いと国際大会申し込みのご案内

ロータリアンの囲碁仲間をGPFRにお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位を明記して所属のクラブ事務局を通じて**FAX**で下記のGPFR日本支部宛に送信をお願いいたします。年会費2000円。入会金はありません。

2018-19年度会費未納の方は、同封の郵便振替用紙(口座番号00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛)をご利用のうえ、会費2000円をご送金ください。

なお、振込み手数料(100円)はご負担ください。GPFRは皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入のご理解とご協力をお願い致します。GPFRの活動については新装の**HP(<http://www.gopfr.org>)**をご覧ください。

〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1F
2580 地区ガバナー事務所内 ロータリー囲碁同好会
専用 FAX 03-3452-1652
日本支部長 PDG 新藤信之